

講義名	観光施設計画論			授業形態	
担当教員	山川 拓也	開講期・曜日・時限	後期 月曜日 4 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生
				ナンバリング・コード	TOR285

主題と概要

一般的に観光地とは見えないローカルな日常生活区域内で「観光としての人的な交流を創出すること」を計画・実践しようとする時、そこで必要とされる視点・機能・アクションは何か、この問いへの答えを見出すには、観光の実体・実相をステレオタイプのイメージ化されたレンズで認識するのではなく、これまでと異なる視野広く捉えていくことが何よりも重要である。観光施設といえ、主には観光スポットにある観光客に向けてのたがかりな集客施設等をイメージされるかもしれない。もちろんそれも立派な観光施設であることに間違いはないが、非観光地であるローカルな日常生活区域内に同様の観光施設を新築することは様々な面から現実的とは言えず、知恵を絞って考える必要がある。

上記を踏まえて展開する本科目では、ローカル区域内での持続可能性に配慮したコミュニティ・ベースド・ツーリズム【CBT: Community Based Tourism (地域が主体となった観光)】の基本と要諦を学び、CBTに取り組み観光施設事業者(ゲストハウス)と地域の融合・共創から成る「新しい観光価値」に実際に触れ、地域の観光事業者/地元住民/旅行者の各立場に沿ってCBTを理解し、非観光地での交流創出に向けたマーケティング的方法論と観光施設計画について探究することを目的としている。

その学習目的のために、地元に関与した活動者(アクター)による特別講義の他、フィールドワーク/議論/発表といったアクティブラーニング(能動的学習)の要素を取り入れ、複合かつ多面的な理解が促されるように配慮している。

到達目標

本科目の到達目標を以下に示す。

CBTの基本事項について「観光事業者」「地元住民」「旅行者」の各立場から理解できるようになる。

地域資源の有機的な結合や地域内の連携等によるCBTをベースとする観光施設計画や観光マーケティングの在り方に関して、自らの考えによる提案や提言類を表現して論理的に説明できるようになる。

提出課題

毎回の受講後に提出を求める「リアクションペーパー」(Campus-Xsで実施、)

グループワークによるプレゼンテーション資料(power point、その他)

最終論述課題(レポート) 詳細については授業中に説明する

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

「リアクションペーパー」の記述で解説を加える必要を認めたものは、授業内で適宜フィードバックをおこなう。

評価の基準

下記による総合評価とする。

毎回の授業後の「リアクションペーパー」への取り組みと提出状況：1.5%

フィールドワーク前の研修に関する「リアクションペーパー」：5%

演習課題に対する主体性と協力度、調査・分析・発表の経度(論理・志向・理解・内容・デザイン)：3.0%

教科書・参考図書の内容ならびに科目主旨に沿う形による最終論述課題(レポート)の内容：5.0%

【重要】

*フィールドワーク(事前準備講義を含む)の全部または一部を欠席した場合、単位不認定とする。(失格/E)

(ただし、新型コロナウイルス感染症等の学校感染症への感染がまたは濃厚接触者等に指定され、一時的に授業が禁止となった学生への対応については別途定める)

*累積の欠席回数が5回以上(5回を含む)になった場合、評価を受ける資格がなくなる。(失格/E)

*遅刻・早退(時間の長短を問わない)は、1回につき0.5回の欠席として算入する。

*スマホ等の電子機器類の無許可かつ私的な使用、私語や睡眠の継続、教員の指示や指導に従わない等は態度不良・授業妨害と判断し、評価に重大影響を及ぼす。

*最終論述課題(レポート)に対する評価指標の基本は、本シラバスに添付のコモンプリックに基づく。

履修にあたっての注意・助言他

・本科目を履修する前提として、「観光文化論」(前期配当)を受講済であることが望ましい。

・授業の多くを「対面グループワーク形式」で進めることから、各自の責任ある取り組みが必要となる。

・対面グループワーク形式を苦手とする(あるいは希望しない)学生には、本科目の履修を勧めない。

・1回目の授業において本科目の主旨を説明してグループ分けをおこなうので、必ず出席すること。

【重要：フィールドワーク演習について】

・10/19-26に事前準備講義、10/31(土)の終日(09:30-15:30)でフィールドワークを実施する。

・到達目標の観点から、フィールドワークならびに事前準備講義への参加は必須とする。

(不参加の場合、単位不認定)

・集合場所までの移動交通費、現地での体験プログラム費、昼食代については、各自負担とする。

教科書

「ゲストハウスがまちを変える：エリアの価値を高めるローカルビジネス」	渡邊崇志・前田有佳利	学芸出版社	2630	9784761528140
------------------------------------	------------	-------	------	---------------

参考図書

「無理しない」観光:価値と多様性の再発見	福井一喜	ミネルヴァ書房	3080	9784623092321
----------------------	------	---------	------	---------------

「まちの魅力を引き出す編集力：地域の「面白さ」を発見して、観光商品化(Pロデュース」	桜井篤	同友館	1760	9784496055416
--	-----	-----	------	---------------

「マニア流！まちを楽しむ「別視点」入門」	合同会社別視点(編集)	学芸出版社	2200	9784761528430
----------------------	-------------	-------	------	---------------

その他

プリント資料：講義形式の際には、講義レジュマや資料類を必要に応じて配布する。

授業計画

【講義】受講ガイダンス(科目主旨ならびに行方方法・評価方法等の説明、グループワークのチーム分け)

予習内容：シラバスを通読し、授業内容の大体を把握して講義に臨む。(60分)

復習内容：講義内容の理解を確実にし、当日の振り返りをリアクションペーパーにまとめる。(90分)

【講義】CBTの要諦を理解する。・CBT概念の基本と「持続可能な観光」におけるCBTの位置づけ

予習内容：教科書の指定部分を通読し、授業内容の大体を把握して講義に臨む。(90分)

復習内容：講義内容の理解を確実にし、当日の振り返りをリアクションペーパーにまとめる。(120分)

【講義】CBTの要諦を理解する。・地域で実践される「まちづくり」との関係

予習内容：教科書の指定部分を通読し、授業内容の大体を把握して講義に臨む。(90分)

復習内容：講義内容の理解を確実にし、当日の振り返りをリアクションペーパーにまとめる。(120分)

【事前準備講義】CBTの実践者(エリアマネジメント)から学ぶ。(株)濱場JAPAN代表 渡邊崇志氏

予習内容：教科書の指定部分を通読し、授業内容の大体を把握して講義に臨む。(90分)

復習内容：講義内容の理解を確実にし、当日の振り返りをリアクションペーパーにまとめる。(120分)

【事前準備講義】前回講義の振り返りとフィールドワークに向けた準備

予習内容：教科書の指定部分を通読し、授業内容の大体を把握して講義に臨む。(90分)

復習内容：F#準備の一環として、指定動画を視聴して感想等をリアクションペーパーにまとめる。(120分)

***** は同日(10/31・土曜日)の09:30-15:30の予定で実施する。(現地集合・現地解散)*****

【F#演習】CBTの実践者(観光事業者)から学ぶ。瀬田で地域統合型ゲストハウスを運営する科野達氏

【F#演習】水道筋商店街・瀬中央市場周辺(神戸市灘区)でのフィールドワーク(まち歩きツアーの体験)

【F#演習】水道筋商店街・瀬中央市場周辺(神戸市灘区)でのフィールドワーク(課題に対する現地調査)

フィールドワークでは、学生を「観光体験に真向きな地域と融合する感覚を求むる旅行者」と仮定し、「具体的にどのようなコンテンツやプログラムがあると旅行者が求めるような感覚(＝ニーズ)を察知し、

交流を越える関係の構築に向けて発展させていくことができるのか」という事業者課題・地域課題について、

旅行者の立場から実践的に考えよう

予習内容：フィールドワークで訪問する地域に関する情報を収集して各自でノートにまとめておく。(180分)

復習内容：現地で得た情報類を整理し、当日の振り返りをリアクションペーパーにまとめる。(240分)

【演習(学内)】フィールドワークの振り返り、調査結果の情報整理

予習内容：演習で取り組む課題について、予め考えやアイデアを練っておく。(120分)

復習内容：指定する動画課題の視聴後の振り返りをリアクションペーパーにまとめる。(240分)

【演習(学内)】課題に対するグループ内での検討

予習内容：演習で取り組む課題について、予め考えやアイデアを練っておく。(120分)

復習内容：授業の振り返りをリアクションペーパーにまとめ、演習課題の作業を進める。(210分)

【演習(学内)】課題に対するグループ内での検討

予習内容：演習で取り組む課題について、予め考えやアイデアを練っておく。(120分)

復習内容：授業の振り返りをリアクションペーパーにまとめ、演習課題の作業を進める。(210分)

【演習(学内)】成果発表に向けての取りまとめ・準備

予習内容：演習で取り組む課題について、予め考えやアイデアを練っておく。(120分)

復習内容：授業の振り返りをリアクションペーパーにまとめ、演習課題の作業を進める。(210分)

【演習(学内)】成果発表に向けての取りまとめ・準備

予習内容：演習で取り組む課題について、予め考えやアイデアを練っておく。(120分)

復習内容：授業の振り返りをリアクションペーパーにまとめ、演習課題の作業を進める。(210分)

【演習(学内)】最終プレゼンテーション(成果発表)と外部関係者講評

予習内容：プレゼンテーションの発表を準備し、発表に備え練習しておく。(210分)

復習内容：外部関係者の講評をもとに当日の振り返りをリアクションペーパーにまとめる。(120分)

【講義】科目としての振り返りと総括

予習内容：これまでの学習について、講義資料等をもとに整理しておく。(90分)

授業形態(アクティブ・ラーニング)

<input type="radio"/> ア：PBL(課題解決型学習)	<input type="radio"/> イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ：実習、フィールドワーク

※：その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

・グループワーク実施時、教員は助言や各グループとの意見交換等を実施し、双方向性の確保に努める。

・授業後に実施する「リアクションペーパー」等の課題への取り組みにおいて、LMS(Campus-Xs)を活用する。

実務経験の有無及び活用

「実務経験あり」
旅行業および旅行サービス手配業の実務経験(欧州を中心とする海外団体旅行の企画造成・営業・添乗・海外駐在、市場戦略策定)で得た知識・知見を活用しつつ、本科目の目標に学生が到達できるように努める。

備考

・本科目は「定員設定科目」(選考有)につき、受講希望に際しては教務部の指示に従って申請すること。

・科目の進捗状況等によって授業の内容や順番を変更する場合があります。その際には事前に告知する。

・フィールドワークは、受け入れ先の都合等により変更や中止となる場合がある。その場合、授業計画を見直し、代替案を提示する。